

## お薬手帳はどうして必要なの？こんなに便利なツールです！！

お薬手帳の活用方法については、だいぶ理解が進んでいると思いますが、活用するとどのようなメリットがあるのでしょうか？活用例とともにご紹介します。



### ★薬の煩雑な名称を覚えなくても、手帳が代弁してくれます。

薬局に来られる方の話で、服用されている薬の名前を質問すると、

「血圧の薬で、“一番軽い作用の白い薬だよ～”」といった話をよく伺います。

血圧の薬といっても様々な種類があり、このような情報だけだと薬を特定することは困難です。

最近ではジェネリック医薬品も多く普及してきていて、薬の名前が長いものも多くあるため、正確に覚えることは難しくなっています。そのような時に、服用中の薬の記録としてお薬手帳を活用すると便利です。

### ★薬による副作用歴、食べ物のアレルギー歴などの情報の記録もできます。



お薬手帳には使用した薬の記録をするページだけでなく、副作用が起きたことのある薬の記録や食べ物のアレルギーを記載するページもあります。

その記録を医師、薬剤師に見せることで、一度経験した副作用の再発を未然に防ぐことができます。

### ★お薬の飲み合わせの確認、重複が防げます。



お薬を複数服用する上で、飲み合わせがよくない組み合わせがあります。組み合わせによっては、薬の吸収が悪くなり効果が低くなったり、思わぬ副作用が生じてしまう場合もあります。

また先発医薬品とジェネリック医薬品で、薬品名が違っていても同じ成分のものが存在するため、気付かないうちに重複して服用してしまう可能性もあるのですが、そのリスクを軽減することも可能です。

### ★電子版お薬手帳もあります。

お薬手帳を常時携帯するのが面倒だといった場合、お手持ちのスマートフォンに薬の記録を持ち歩くお薬手帳のアプリも普及してきましたので、こちらを活用すると便利です。



安心してお薬を使用していただく上で、ご自分の薬の記録を管理する

“My お薬手帳”を携帯し、ご自分のかかりつけ薬剤師、かかりつけ薬局を持つことをおすすめします。